

2023年11月21日

ラジオ CM 制作に携わる皆様

民放連・業協ラジオ CM 運行合同 WG

ラジオ CM 素材搬入基準改訂に伴う対応のお願い
【2024年11月の新基準適用への移行準備について】

今回まとめたラジオ CM 素材搬入基準【2023年11月改訂版】は、1年後の2024年11月に適用となります。さらにその1年後を目途に現行の基準に準拠したラジオ CM 素材の放送局での受け入れが終了します。つきましては、基準改訂に伴い下記ご対応をよろしくお願いたします。

1. 現行基準と新基準の違い

CM	現行の基準【2020年1月改訂版】	新基準【2023年11月改訂版】
適用時期	2024年10月末 制作分※まで	2024年11月 制作分※以降
秒数規定	既定の秒数内（1秒以上） ノンモン規定なし（無音部分の規定なし）	CM素材本編の長さとし、「規定の秒数」（契約秒数）と一致 ノンモン規定あり（前後 0.1 秒以上 0.5 秒以下を無音）
音量	適正なレベル（音量）で録音 ラウドネス規定なし	平均ラウドネス値〈ターゲットラウドネス値〉が -24.0LKFS （ $\pm 1\text{dB}$ ） （民放連技術基準 T032「テレビ放送における音声レベル運用規準」に準拠であり、ピークレベルを各音声チャンネルにおいて -1dBTP を上限とすることも含まれる）
音声ファイル録音基準	空白、レベル規正用信号、空白、クレジット、空白、CM素材本編（規定秒数）、空白	CM素材本編（規定秒数に前後のノンモンを含める）のみ レベル規正用信号、クレジット等は録音せず （図1参照）
原稿		記載項目および推奨記載例（参考資料参照）を参考に作成 （「ラジオ CM 原稿」参考書式が用意されます）

※Radi Pos アップロード後の広告会社担当者による CM 素材の検収処理完了を指します。

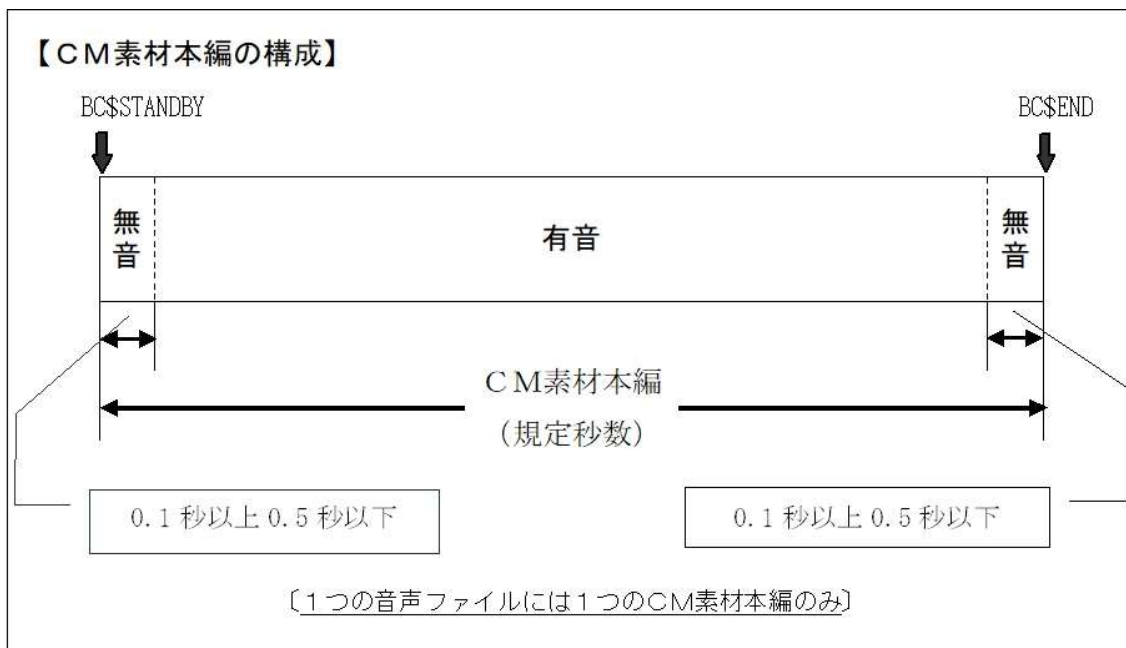


図1. CM音声ファイル録音基準（構成フォーマット）

2. 現行の基準のラジオCM素材 受け入れ終了時期

- ・2024年10月31日までに制作された、現行の基準に準拠したラジオCM素材は2025年10月末（目途）まで放送局で受け入れ可能です。
- ・放送局は2025年10月末で、旧フォーマット素材の搬入の受付を終了します。

（搬入基準「はじめに」より）

2024年10月31日までに制作された、2020年1月改訂版に準拠するラジオCM素材の放送局の受け入れ終了時期は1年後を目途とし、別途定めて周知します。

3. Radi Pos での対応

ラジオCMオンライン送稿システム「Radi Pos」について

- ・平均ラウドネス値調節 基準値に合わせて自動調節する機能を装備予定（検討中）

新基準下では構成フォーマットがシンプルになる一方、ノンモンとラウドネスという制作上の遵守事項が増えます。CM音量（ラウドネス規定）が制作側の新たな負担とならないようにRadi Posに対応機能を設け、ノンモン規定を守った本編の音声ファイルを用意すればRadi Posで完パケが作れる環境としていく予定です。

4. 今後のラジオCM制作時の留意事項

- 2024年10月末まで：新基準に備えた制作
- ・現行の基準が適用されます。

- ・レベル規正用信号及び音声クレジットは必須です。
- ・ただし、これからのラジオ CM 制作時には、CM 素材本編部分は新基準のノンモン規定（前後 0.1 秒以上 0.5 秒以下を無音）を踏まえた制作を推奨します。素材が 2025 年 11 月以降も使用される場合に、本編部分の再録音や再編集を避けられるようにするためです。
- ・CM 原稿には「ラジオ CM 原稿」参考書式の使用を推奨します。

●2024 年 11 月以降：新基準に則った制作

2024 年 11 月 1 日以降に制作される素材は、新基準(2023 年 11 月改訂版)が適用されます。

- ・レベル規正用信号及び音声クレジットは不要です。(ノンモンを含む) CM 素材本編のみとなります。
- ・ノンモン (CM 素材本編の前後 0.1 秒以上 0.5 秒以下を無音) は必須です。
- ・ラウドネス値の調整は Radi Pos 上でも可能になる予定です。

以上